

新年のあいさつ

院長 朝 哲洋



あけまして

おめでとーございます

昨年中は、多くの皆様にご支援をいただきました。心からお礼申し上げます。

令和4年は新型コロナウイルスの流行が1年間続きました。

そして年末には病棟での院内クラスター発生を初めて経験し収束までに約一か月を要しました。ご心配、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への類下げが検討されて

いますが、お年寄りにとつては命に係わる感染症である点に変わりはありません。今後も感染対策に注力していきたいと考えております。

まだまだ気が休まらない1年と思いますが、新型コロナウイルスに関する蓄積された知見を参考に対

策をし、理想をあきら

めない、我慢しないウ

イズ・コロナの病院運営を行っていききたいと思えます。



ドック、健診事業の充実

今年ドックの医師体制が変わります。コロナ禍で健康診断や人間ドックから遠ざかっていた住民の健康づくり、がんの発見だけでなく

生活習慣病の指導にも力を入れていきます。

輪番救急の充実と退院支援

昨年の11月から、月に3回だった2次輪番救急を4回行うようになりました。救急患者さんの入院受け入れが滞ることのないように入退院支援に力を入れていきます。

トヨタ生産方式に学びながらの改善活動

令和元年度から高森商工会のプロジェクト・チャレンジ事業に参加して、「トヨタ生産方式」に学びながら業務の改善を開始しました。